

これから求められるミネラル豊富な農産物は 堆肥施用によって育まれる

広島県堆肥センター協議会
会長 橋岡 由夫

有機農業、減農薬栽培、そして循環型農業に目覚めた人々が増加してきている。消費者も健康、安全食品、そして環境問題に関心が高くなったのだろう。堆肥センターの役割を發揮できるチャンス到来である。

現在の日本型食生活においては、バランスのとれた食生活として世界が注目しているという。そして補うとすればミネラル(無機質)といわれる。特に、農産物はミネラルを補給するのに重要な食品である。日本食品標準成分表のミネラル(無機質)の項目は、カルシウム、リン、鉄、ナトリウム、カリウム、マグネシウム、マンガン、銅、亜鉛、硫黄などである。これらの食品成分は、植物の生育に必要な必須元素(16元素)の一部となっている。そして、堆肥の中には天然の必須元素がたっぷり含まれているのである。

本来、農業の基本は、堆肥施用による土作りであることは言うまでもない。ミネラル豊富な農産物は、土壌への堆肥施用によって育まれるのである。現代の農産物は一昔前の農産物に比べてミネラル成分が減少してきていると言われている。これは化学肥料に頼り過ぎた現代農業が土壌中のミネラル成分を奪ったせいである。

消費者の健康志向が高まることで店頭でミネラル豊富な農産物が求められる。必然的に堆肥需要が増大し、畜産環境問題が解決していくことを望んで止まない。